

六方石の燈籠(照明入り)

テラスに置く添景物として六方石燈籠の設置です。

六方石の燈籠は石屋で購入したものです。設置について石屋に聞くと、この燈籠は竿の一部を織部灯籠のように地面に埋め込んで設置するとの事でした。

しかし、高さを欲しかったので台座を作ってその上に置くことにしました。また袋部には電灯を入れるようにくり抜いてあったので、電気を配線し電灯が灯るようにしました。



購入した六方石の燈籠

1. 台座の制作

台座はコンクリート製とし、サビスレート貼りとなりました。

竿部を埋め込まないで、台座の上に置くだけでは地震などで転倒するおそれがあります。このため竿部の中心に開いている電線通しの孔を利用して支柱を差し込み、倒れない構造とします。

写真右は電線管を通したステンレスパイプを台座の中に立て、支柱とした状態です。

台座の制作はまず台座側面に貼るスレートと上面に貼るスレートを加工します。次に側面のスレートを型枠代わりにハタガネで止めます。



電線管を通したステンレスパイプを立てる



サビスレートを基礎の枠用に加工しハタガネで止めます

コンクリートを打設し、上面用に加工したスレートを被せ一緒に固めます。
コンクリートが固まれば台座の制作完了。

台座と竿部はモルタル接着増強剤を使用したモルタルで接合します。



台座完成

2. 電灯(蛍光灯)取付け

電灯には熱対策として電球型蛍光灯を用います。また、熱がこもっても大丈夫なように、ソケットの台としては素焼きの植木鉢、ソケットは磁器製、雨水よけのホヤにはインスタントコーヒーのガラス空瓶を使用します。



ソケット台の加工とソケットの取り付け

ソケットの台用の植木鉢は写真のように袋部に納まる寸法に輪切りにし、ソケットとの接続用のボルト孔を2個開けます。写真右はソケットを取り付けた状態です。



電球型蛍光灯を差し込んでホヤを被せる

蛍光灯を差し込んで、ホヤ(インスタントコーヒーのガラス空瓶)を被せます。

袋部を被せて試験点灯します。
点灯が確認できたら、一度袋部を降ろし、燈籠の竿部
の上に両面接着テープを貼ってから袋部を被せます。
(地震対策です)



六方石の燈籠試験点灯

六方石の燈籠設置完成です。



六方石の燈籠（照明入り）完成

元のページへ戻るにはブラウザの〔戻る〕ボタンをご使用ください。